6月議会 災害から命とくらし守る市政求めて 一般質問

日本共産党市議団は6月議会で、東日本大震災の教訓を生かし、市民のいのちとくらしを守る福祉・防災のまちづくりを求めて一般質問や議案審査をおこないました。

補正予算には、みなさんとともに要望してきた「家具転倒防止器具」助成費が増額されたことをはじめ、防災倉庫の「備蓄品」や「仮設トイレ」の補充、プレミアム商品券事業への助成などが盛りこまれ、全会一致で可決しました。

原発ゼロに向けたメッセージの発信を

市長は答弁せず

文教社会常任委員
池川友一
TEL(734)1116

池川友一市議は、原発事故から市民のいのちと健康を守るための対策を求めて質問。原発ゼロへのメッセージを発信することを求めましたが、市長は答弁に立たず、担当部長は「国の責任において対応するもの」という答弁をくり返しました。また、「子どもが集まる場所で放射線を測定して公表してほしい」と実施を求めました。

情報弱者への対応、ツイッターを使った情報提供、防災無線の改善など市の情報発信について求めました。被災地支援について求めた質問には、人的派遣も含めて検討をしていくという答弁がありました。

太陽光発電システム等への設置補助を

部長 拡大を考えていく

文教社会常任委員長
佐々木とも子
TEL(793)4137

佐々木とも子市議は、東日本大震災により市内に避難している被災者への支援体制の充実と、公共施設への太陽光発電システム設置や補助金の拡大を求めました。公社やURなど被災者受け入れ住宅へのクーラー設置は、「都にこちらから問い合わせる」と市長が答弁。自然エネルギーの活用については、太陽光発電システムの設置補助拡大のほか、蓄電池など他のメニューも国・都の動向を見ながら検討を進めていくと環境資源部長が答えました。

災害時の市民の食料確保、要援護者支援充実を

部長 地域防災計画の見直しをしていきます

総務常任副委員長
佐藤よう子
TEL(797)5948

佐藤よう子市議は、災害時に一時避難所には、3日間、3万人分の非常食しか備蓄されていない点や、自主防災会加入者優先では42万市民の命は守れないと質しましたが、あくまでも自助共助の精神で、自らの食料は確保すべしとの答弁でした。また今回の震災を踏まえて要援護者（高齢者、障がい者など）支援の充実を求めましたが、「個別の支援計画を作っていく」との答弁がありました。

災害時の透析医療患者の命を守るべき

部長 支援マニュアルを見直したい

建設常任委員
とのむら健一
TEL(793)5458

とのむら健一市議は、災害時に透析医療患者の命を守るための施策の充実を求めました。担当部長は、「電力不足は課題である。連絡会を再開し、マニュアルを見直したい」と答弁。町田バスセンターの中に公共トイレを設置すべきとの質問に、鷲北副市長は、「町田バスセンターとその周辺を含めて検討する」と答えました。新庁舎建設に伴い、周辺道路の交通量が1日、1500台、6割以上も増加します。渋滞など交通環境悪化の解決を求めた質問に対し、改善策がとられてないことが明らかになりました。

学校など2次避難所を活用した避難訓練実施を

部長 避難所連絡協議会を開催し、検討する

健康福祉常任委員
細野りゅう子
TEL(796)8163

細野りゅう子市議は、まだ定められていない豪雨時の避難所設置を求めました。また、学校などの公的施設を活用して避難訓練を市が主導しておこなうように求めました。また、死亡者も出したコストコ多摩境店駐車場の事故について、市として原因究明をおこなうよう求めました。

小一の35人学級が年度途中の実施となり、年度途中で学級編成替えをおこなう問題点を指摘し、来年度二年生に持ち上がるとき35人学級を継続できるよう、市として責任がある対応を求めました。「国・都の動向を見る」と部長が答弁しました。

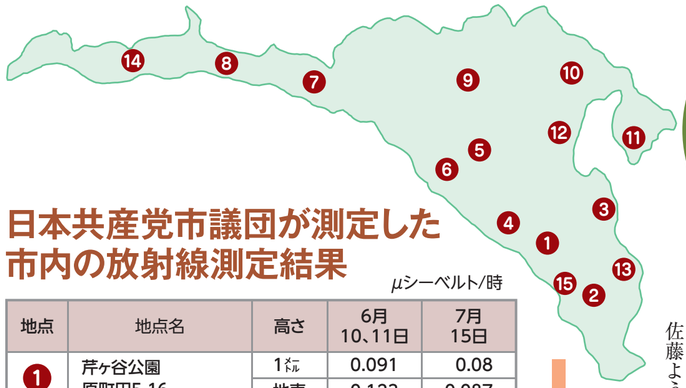
東日本大震災の被災者受け入れ支援を求める意見書 日本共産党提出

>>>>>>> 全会一致で可決

意見書・請願	日本共産党	民主党・社民・ネット	公明党	まちだ新世紀・みんな	自由民主	志政クラブ	諸派	可否
原発からの撤退を求める意見書	◎	△	○	×	×	×	×	否決
東京都に東日本大震災の被災者受け入れ支援を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	可決
中央公民館有料化に関する請願	○	○	×	×	×	×	×	不採択
町田市議会議員の期末手当5.2ヶ月を3.95ヶ月に引き下げることを求める請願	○	×	×	○	×	×	△	不採択
大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療介護を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	可決

◎･･･提案　○･･･賛成　△･･･一部賛成　×･･･反対

日本共産党市議団が測定した市内の放射線測定結果



μシーベルト/時

地点	地点名	高さ	6月10、11日	7月15日
1	芹ヶ谷公園 原町田5-16	1㍍	0.091	0.08
		地表	0.123	0.087
2	小川公園 小川3-16	1㍍	0.114	0.08
		地表	0.094	0.085
3	成瀬熊ヶ谷戸公園 成瀬台2-33	1㍍	0.1	0.097
		地表	0.105	0.103
4	森野3丁目児童遊園 森野3-4	1㍍	0.087	0.08
		地表	0.099	0.087
5	山崎保育園入口 山崎町2130	1㍍	0.093	0.092
		地表	0.092	0.095
6	忠生公園 忠生1-3-1	1㍍	0.082	0.076
		地表	0.085	0.085
7	小山田桜台児童公園 小山田桜台1−9	1㍍	0.097	0.09
		地表	0.115	0.105
8	小山田端自然公園 小山ヶ丘5−8	1㍍	0.115	0.125
		地表	0.123	0.15
9	野津田公園 野津田町2035	1㍍	0.113	0.123
		地表	0.124	0.136
10	鶴川中央公園 鶴川6-6	1㍍	0.083	0.074
		地表	0.085	0.081
11	三輪中央公園 三輪緑山3-21	1㍍	0.089	0.088
		地表	0.082	0.098
12	笹子第二児童公園 金井町2193—7	1㍍	0.097	0.085
		地表	0.104	0.1
13	成瀬クリーンセンター付近 南成瀬8-1-1	1㍍	0.122	0.119
		地表	0.142	0.134
14	相原中央公園 相原町2018	1㍍	−	0.105
		地表	−	0.131
15	西田峯山公園 金森1659-1	1㍍	−	0.074
		地表	−	0.086

測定日●1回目（6月10日と11日）、2回目（7月15日）
測定者●日本共産党町田市議団と専門家
測定器●日立ALOKAメディカル シンチレーションサベイメータTCS-151
測定方法●地上1㍍と地表で表示数値を10秒間隔で10回読みとり（値は平均値）

放射線測定を行う日本共産党市議団と専門家

（詳しくはHPで）